

大山東町

当町会は、昭和38年に「板橋大山東町会」として発足し、昭和44年に現在の「大山東町会」に改称され、現在に至っています。

板橋地域所管の最西端に位置し、文化会館、都税事務所、板橋第一中学校をはじめとする公的機関を有し、さらに遊座大山商店街など人通りの絶えない地域を抱え、商店街と連携したイベントを行い、地域の発展に努めております。

昭和52年には青年部傘下の昭和会により神輿が手造りで作製され、町会の象徴として今日まで大切に受け継がれ、祭礼で活躍しております。

2020年に他界された松澤一記前会長の遺志を引き継ぎ、今後とも地域一体のさらなる安心、安全、そして快適な生活が出来るまちづくりを目指してまいります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています